

# からだの しくみを知ろう

## 尿には情報がいっぱい

今回は、尿検査のお話です。尿は、体内で不要となった物質や余分な栄養素・分泌物・水分などを体外に排泄しています。尿検査は、一般的によく知られている、蛋白・糖・潜血などを試験紙で調べる検査(尿定性)と、尿を遠心分離器にかけ、沈殿した細菌や赤血球などを顕微鏡で観察する尿沈査という検査があります。尿沈査では、赤血球や白血球だけではなく、尿酸結晶や細胞などもみることができます。この細胞の種類によって、どこの部分に炎症や腫瘍、感染があるのか、おおよその見当をつけることができます。尿検査は、からだに負担がかからないにも関わらず、たくさんの情報が引き出すことができ、からだの異変をいち早く見つけるために、とても有効な検査なのです。

もちろん、北病院検査室でも尿沈査は実施していますよ。



検尿カップ